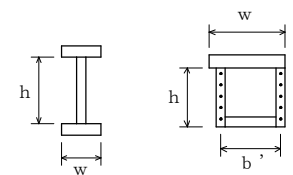
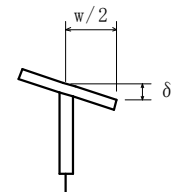
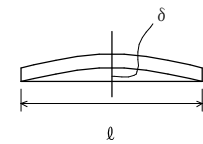


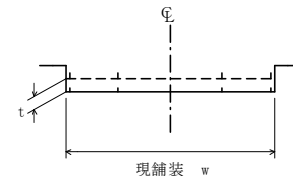
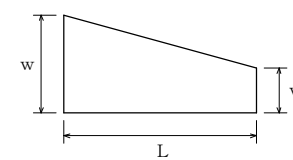
単位：mm

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値
6	2	3	4		桁補強材製作工	フランジ幅 w (m)	±2…… w ≤ 0.5 ±3……
						腹板高 h (m)	0.5 < w ≤ 1.0 ±4……
						腹板間隔 b' (m)	1.0 < w ≤ 2.0 ±(3+w/2) …… 2.0 < w
						フランジの直角度 δ (mm)	w/200
						圧縮材の曲がり δ (mm)	ℓ/1000

測 定 基 準		測 定 箇 所	摘 要	
プレートガーター	トラス・アーチ等			
主桁・主構	各支点及び各支間中央付近を測定。	 <p>I型プレート ガーター トラス弦材</p>		
床組など	構造別に、5部材につき1個抜き取った部材の中央付近を測定。			
主桁	各支点及び各支間中央付近を測定。			
	主要部材全数を測定。			

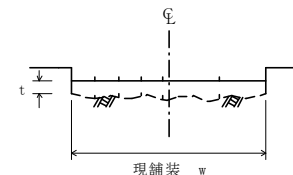
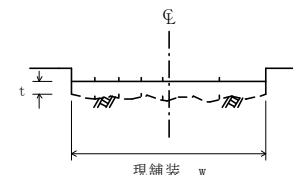
単位：mm

編	章	節	条	枝番	工種	測定項目	規格値		
							個々の測定値 (X)	平均の測定値 (X ₁₀)	
6	2	4	3		路面切削工	厚さ t	-7	-2	
						幅 w	-25	—	
6	2	4	4		舗装打換え工	路盤工	厚さ t	該 当 工 種	
							幅 w	-50	
							延長 L	-100	
						舗設工	厚さ t	該 当 工 種	
							幅 w	-25	
							延長 L	-100	
6	2	4	5		切削オーバーレイ工	厚さ t	-7	-2	
						幅 w	-25	—	
						延長 L	-100		
						平坦性	—	3mプロファイルメーター (σ)2.4mm以下直読式(足付き) (σ)1.75mm以下	

測定基準	測定箇所	摘要
厚さは40m毎に現舗装高さ切削後の基準高の差で算出する。測定点は車道中心線、車道端及びその中心とする。延長40m未満の場合は、2ヶ所/施工箇所とする。断面状況で、間隔、測点数、厚さを変えることが出来る。測定方法は自動横断測定法によることが出来る。		
各層毎1ヶ所/1施工箇所		
厚さは40m毎に現舗装高さ切削後の基準高の差で算出する。測定点は車道中心線、車道端及びその中心とする。延長40m未満の場合は、2ヶ所/施工箇所とする。断面状況で、間隔、測点数、厚さを変えることが出来る。測定方法は自動横断測定法によることが出来る。		

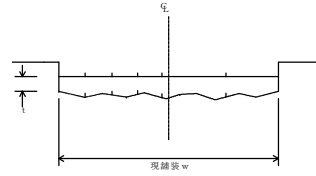
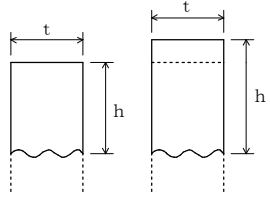
単位：mm

編	章	節	条	枝番	工種	測定項目	規格値		
							個々の測定値 (X)	平均の測定値 (X_{10})	
6	林道維持・修繕編	2	林道修繕	4	舗装修繕工	6	オーバーレイ工	厚さ t	-9
								幅 w	-25
								延長 L	-100
								平坦性	—
6	林道維持・修繕編	2	林道修繕	4	舗装修繕工	7	路上再生路盤工	厚さ t	-30
								幅 w	-50
								延長 L	-100
								路盤工	

測定基準	測定箇所	摘要
<p>厚さは40m毎に現舗装高とオーバーレイ後の基準高の差で算出する。測定点は車道中心線、車道端及びその中心とする。</p> <p>幅は、延長80m毎に1ヶ所の割とし、延長40m未満の場合は、2ヶ所/施工箇所とする。</p> <p>断面状況で、間隔、測点数を変えることが出来る。</p>	 <p>維持工事においては、平坦性の項目を省略することが出来る。</p>	
<p>幅は延長80m毎に1ヶ所の割で測定。厚さは、各車線200m毎に左右両端及び中央の3点を掘り起こして測定。</p>		

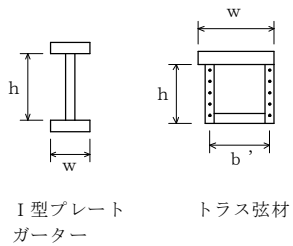
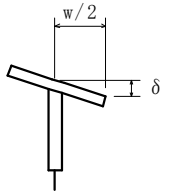
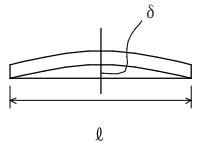
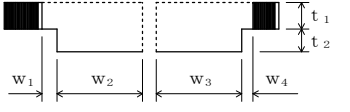
単位：mm

編	章	節	条	枝番	工 種	測定項目	規 格 値	
							個々の測定値 (X)	平均の測定値 (X ₁₀)
6	2	4	8		路上表層再生工	舗 設 工	厚さ t	-9
							幅 w	-25
							延長 L	-100
							リペーブの場合再生表層厚 t ₂	-9
							平坦性	— 2.4
6	2	5	3		排水構造物修繕工	嵩 上	厚さ t	-20
							高さ h	-30
							延長 L	-200

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
幅は延長 80m毎に 1ヶ所の割で測定。 厚さは、1000 m ² 毎に、現舗装高と舗設後の基準高の差を、車線中心線、車線端及びその中心とする。		
施工延長 40mにつき 1ヶ所、延長 40m以下のものは 1 施工箇所につき 2ヶ所。 取壊し寸法又は嵩上げ寸法が変化すれば、変化点毎に測定。		

単位：mm

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値		
6	林道維持・修繕編	2	林道修繕	6	橋梁修繕工	7	鋼桁補強工	フランジ幅 w (m)	$\pm 2 \cdots \cdots w \leq 0.5$
								腹板高 h (m)	$\pm 3 \cdots \cdots 0.5 < w \leq 1.0$
								腹板間隔 b' (m)	$\pm 4 \cdots \cdots 1.0 < w \leq 2.0$
									$\pm (3 + w / 2) \cdots 2.0 < w$
					フランジの直角度 δ (mm)	$w / 200$			
					圧縮材の曲がり δ (mm)	$\ell / 1000$			
6	林道維持・修繕編	2	林道修繕	6	橋梁修繕工	8	伸縮継手修繕工 (ゴムジョイント)	厚さ t_1, t_2	-20
								幅 $w_1 \sim w_4$	-20
								延 長 L	設計値以上

測 定 基 準		測 定 箇 所	摘 要
プレートガーター	トラス・アーチ等		
主桁・主構	各支点及び各支間中央付近を測定。	 <p>I型プレート ガーター トラス弦材</p>	
床組など	構造別に、5部材につき1個抜き取った部材の中央付近を測定。		
主桁	各支点及び各支間中央付近を測定。		
	主要部材全数を測定。		
伸縮継手の両端部及び中央部の3ヶ所を測定。			

単位：mm

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値							
6	林道維持・修繕編	2	林道修繕	6	橋梁修繕工	10	1	P C 橋支承修繕工・鋼桁支承修繕工 (鋼製支承)	据 付 け 高 さ	± 5				
									可動支承の橋軸 方 向 の ず れ	± 10				
									支 承 中 心 間 隔 (橋軸直角方向)	± 5				
									下 沓 の 水 平 度	橋 軸 方 向	1 / 100			
										橋軸直角方向	1 / 100			
									同一支承線上の可動支 承のずれの相対誤差	5				
								2	P C 橋支承修繕工・鋼桁 支承修繕工 (ゴム支承)	据 付 け 高 さ	± 5			
												支 承 中 心 間 隔	± 10	
														下 沓 の 水 平 度
												橋軸直角方向		

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
		支承全数を測定。
		支承全数を測定。 上部構造部材下面とゴム支承面との接 触面及びゴム支承と台座モルタルとの 接触面に肌すきが無いことを確認す る。